

校友会 史跡クラブ 行程表

日 程	1 月 7 日 (火)	《雨天決行》
活動場所	江戸最初山手七福神巡り	
集合時間:場所	8 時 5 0 分 (時間厳守) : 東武東上線池袋駅南口改札前	
費用概算	交通費・昼食代・御朱印代他	
行程概要 (午前)	池袋 9 : 0 3 ~ 飯田橋 9 : 1 4 (メトロ有楽町線)	
	飯田橋 9 : 1 8 ~ 白金高輪 9 : 3 4 (メトロ南北線)	
	9 : 4 0 覚林寺 (毘沙門天) ~ 目黒不動瀧泉寺 (恵比寿神)	
	1 2 : 3 0 終了	
	(昼食) 目黒駅方面へ戻り自由食 (解散)	
	(帰路) 1 4 : 0 2 目黒 ~ 1 4 : 2 2 池袋 (J R 山手線)	

● 山手七福神

七福神信仰は、室町時代の中頃に大黒様や恵比寿様への信仰が始まり、江戸時代の中期には今の七福神の形が出来、庶民の間に広まったという。「山手七福神」は、将軍が鷹狩りの際に参詣していた目黒の不動堂への参詣の道筋に、江戸城裏鬼門（南西の方角）守護として設置された江戸最初の七福神といわれている。七福神信仰というのは、インド・中国・日本の「福」を授ける神仏を七体巡ると、全ての人々が望む「願い」を聞き、ご利益を与えてくれるという日本独特の信仰です。当時の庶民は、元旦から七草までの間に近くの七福神を巡り歩いて、一年間の家内安全や商売繁盛などを祈願したといえます。

山手七福神は、覚林寺側から巡ると「無病息災・長寿祈願」にご利益があり、逆に目黒不動側から巡ると「商売繁盛」のご利益があるといわれています。

- 覚林寺 (毘沙門天：インドの神様で仏教の守護神。災難除け等の福德を授ける。) 寛永 8 年 (1 6 3 1) 創建の日蓮宗の寺院で、加藤清正の位牌・像等を祀っていることから「清正公」と呼ばれている。
- 瑞聖寺 (布袋尊：中国の實在の僧侶がモデルで弥勒菩薩の化身といわれている。) 寛文 1 0 年 (1 6 7 0) 創建の黄檗宗の禅寺で、宝暦 7 年 (1 7 5 7) 上棟の大雄宝殿 (本堂) は国の重要文化財に指定されている。平成 3 0 年完成の境内と庫裏 (僧侶のための後方施設) は、隈研吾の設計である。
- 妙円寺 (福祿寿・寿老人：福祿寿は中国の神で頭が長く白い髭が特徴。幸福・財産・長寿をもたらす神。寿老人も中国の神でよく似ていて学芸・智慧・長寿の神。) 日蓮宗の寺院で、室町幕府 1 3 代将軍足利義輝の家臣瀧本弾正が将軍の持念仏妙見菩薩を賜り、その子采女が妙見堂を造り祀ったのが起源。
- 大円寺 (大黒天：ヒンドゥー教のシヴァ神の異名で仏教の守護神となり、日本に伝来すると大国主命と習合し、豊穰・財福をもたらす神とされた。) 天台宗の寺院だが、寛永年間 (1 6 2 4 - 4 4) に出羽湯殿山の行者の創建に始まる。明和 9 年 (1 7 7 2) の目黒行人坂の大火の火元となった寺院で、犠牲者追悼のために造られた 5 2 0 軀もの石仏群が目を見守る。
- 蟠龍寺 (弁財天：ヒンドゥー教の女神が仏教の守護神となり、日本に伝わると神仏習合して独自の特質を持つようになった。財福や商売繁盛だけでなく音楽・芸術の上達にもご利益があるという。) 境内の岩窟内に石造弁財天があり、弁天堂内にも八臂天女像が安置されている。また、美人になるご利益があるという「おしろい地蔵」がある。
- 瀧泉寺 (恵比寿天：七福神のなかでは唯一日本の神様で、イザナギ・イザナミの第三子、蛭子が神になったものとされ、漁業の神で特に商売繁盛の神様として有名) 天台宗の寺院で不動明王を本尊とし、目黒不動の通称で呼ばれる。寺伝では大同 3 年 (8 0 8) 円仁による創建という古刹である。徳川家光の庇護を受け寛永 1 1 年 (1 6 3 4) 5 0 棟余の伽藍が復興され、江戸時代には大いに栄え門前町が発達した。ちなみに都内には五色 (目黒・目白・目赤・目青・目黄) の不動尊がある。-----

持ち物等 歩き易い靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ